

市議会だより



印旛支部消防操法大会優勝!!

6月29日(日)に四街道市において、県消防協会印旛支部消防操法大会が行われ、八街市の代表として小型ポンプの部に消防団第16分団(西林区)が出場し見事に優勝。また、ポンプ車の部には、消防団第1分団(1区)が出場し第3位と優秀な成績をおさめました。(写真:16分団)

6月定例会

- 提出議案の主な内容 ————— 2~3P
- 議案質疑・委員会審査の主な内容 ————— 4~5P
- 一般質問(個人17人) ————— 6~14P
- 定例表彰、議長・副議長の出席報告等 ————— 15P
- 審議された議案と結果 ————— 16P



ピーちゃん ナツちゃん

主な内容

6月定例会を5月30日から6月20日までの 22日間の会期で開催しました。



6月定例会

提出議案の主な内容

(紙面の都合上、議案の内容の一部を掲載します。)

人事

- ◆ 固定資産評価審査委員会委員の選任
○ 八街い 栗原正幸氏(再任)
- ◆ 固定資産評価員の選任
○ 八街市役所課税課長 日野原広志
- ◆ 農業委員会委員の推薦
○ 上砂 石井とよ子氏(再任)。

条例

- ◆ 国民健康保険税軽減措置対象の拡大
国民健康保険税における5割軽減判定所得の基準額を「世帯主を除く被保険者数」から「被保険者数」に、2割軽減判定所得の基準額を「被保険者数につき35万円」から「被保険者数につき45万円」に引き上げ等を行うことにより、低所得者の国民健康保険税における軽減措置対象の拡大を図ります。
- ◆ 八街市基本構想の策定
基本構想の位置付け・策定について、また、議会の議決に関する事などについて規定しました。
- ◆ 土地の埋立て等及び土砂等の規制
埋立て等を行うとする申請者が暴力団員、または、暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者に許可しないことが追加されました。
- ◆ 市税条例の一部改正
○ 地域間の税源の偏在制を是正し財政力格差の縮小を図るため、消費税率8%段階において法人住民税率を引き下げます。
法人市町村民税 改正前 12.3%
改正後 9.7%
- 平成27年度分から軽四輪車等及び小型特殊自動車の標準税率を自家用乗用車には1.5倍に、その他の区分の車輛にあつては、約1.25倍にそれぞれ引き上げます。軽四輪車等については、平成27年4月1日以降に最初の新規検査を受けるものから新税率を適用します。二輪車に係る軽自動車税については、平成27年度分から標準税率を約1.5倍に引き上げたうえで、2千円未満の

審議された案件は、議案12件、発議案5件でした。
 一般質問は17名の議員がおこないました。



予 算

◆平成26年度一般会計補正予算

- 安全で快適に利用できる道路環境を整えるため、市道の改良や維持修繕
 1億922万円増額（既定予算と合わせて3億1千738万円）。
- 安全で快適な生活環境を推進するため、水路等の流末排水施設の整備。
 3千297万8千円増額（既定予算と合わせて5千775万円）。
- 消費生活に関わる相談や消費者教育を推進するため、消費生活対策の充実。
 376万3千円増額（既定予算と合わせて671万6千円）。
- 平成25年度の大雪により被害を受けた農産物の生産に必要な施設の再建・修繕等を助成。
 2億9千200万円増額。
- 市政の発展と市民福祉の増進を促進するため、コミュニティ活動への助成。
 250万円増額。
- 平成27年度以降の開始が予定されている社会保障・番号制度に対応するため、住民票などの発行
 に使用しているシステムの改修。
 3千609万2千円増額。

軽自動車等の改正税率一覧表

(1) 三輪以上の軽自動車

区 分	標準税率		重課税率			
	現行	改正案	現行	改正案		
四輪以上	乗 用	自家用	7,200円	10,800円	制度なし	12,900円
		営業用	5,500円	6,900円		8,200円
	貨物用	自家用	4,000円	5,000円		6,000円
		営業用	3,000円	3,800円		4,500円
三 輪		3,100円	3,900円	制度なし	4,600円	

※平成27年度から、改正後の税率を適用する。
 ※軽四輪等については、平成27年4月1日以後に最初の新規検査をうけるものから改正後の税率を適用する（平成26年度までに最初の新規検査を受けたものについては現行の標準税率のまま）。
 ※平成28年度から、最初の新規検査から13年を経過した軽四輪車等については、重課税率を適用する。

(2) 原動機付自転車、二輪の軽自動車及び小型特殊自動車

区 分	標準税率		重課税率			
	現行	改正案	現行	改正案		
二 輪	原付	50cc以下	1,000円	2,000円	制度なし	制度なし
		50cc超～90cc以下	1,200円	2,000円		
		90cc超～125cc以下	1,600円	2,400円		
		ミニカー	2,500円	3,700円		
	軽二輪（125cc超～250cc以下）等	2,400円	3,600円			
小型二輪（250cc超）	4,000円	6,000円				
小型特殊 自動車	農耕作業用のもの	1,600円	2,400円	制度なし	制度なし	
	その他のもの	4,700円	5,900円			

※平成27年度から、改正後の税率を適用する。

標準税率を2千円に引き上げます。また、グリーン化を進める観点から最初の新規検査から13年を経過した軽四輪車等について、平成28年度分から標準税率の概ね20%の重課を行います。

意見書を国などに提出しました!

手話言語法制定を求める意見書

世界に目を向けると、平成18年12月に国連総会において、「障害者権利条約」が採択され、「手話は言語」であることが明記されました。我が国においては、障害者権利条約の批准に向けて国内法の整備を進め、平成23年8月に改正された「障害者基本法」では、「全て障害者は、可能な限り、言語（手話を含む。）その他の意思疎通のための手段についての選択の機会が確保される。」と定められています。また、同法第22条では国・地方公共団体に対して情報保障施策を義務づけていることから、手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、聞こえない子どもが手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした「手話言語法」を制定することを求めます。(一部抜粋)

国における平成27年度教育予算拡充に関する意見書

国においては、教育が未来への先行投資であり、日本の未来を担う子どもたちに十分な教育を保障することが、国民の共通した使命であることを再認識され、国財政が非常に厳しい状況の中ではあるが、必要な教育予算を確保することを強く要望します。(一部抜粋)

- ・集团的自衛権行使を容認する解釈改憲を行わないことを求める意見書(否決)
- ・消費税増税の中止を求める意見書(否決)

義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書

義務教育費国庫負担制度は、憲法上の要請として、教育の機会均等とその水準の維持向上をめざして、子どもたちの経済的、地理的な条件や居住地のいかにかわららず無償で義務教育を受ける機会を保障し、かつ、一定水準の教育を確保するという国の責務を果たすものです。国においては、21世紀の子どもたちの教育に責任を持つとともに、教育水準の維持向上と地方財政の安定を図るため、義務教育費国庫負担制度を堅持するよう強く求めます。(一部抜粋)

議案質疑

6月10日に本定例会に提案された、議案について質疑を行いました。(紙面の都合上、質疑の一部を掲載します。)

◆基本構想

問 基本構想の位置付けについて伺う。

答 地方自治法の一部改正により、市町村の基本構想に関する規定が削除されましたが、基本構想が市政の最上位の方針であることから、議会の議決を経て策定することとするものです。

問 最上位ということですが、それに基づいている施策は進めていきませんが、その中に財政的なことも伴います。事業評価の仕方など、どのように考えているのか。

答 現在は、行政評価を行う改革で実施している状況です。今までの基本計画で、どの程度事業が進

んでいるのかなど再度精査しながら、今後の基本構想、または基本計画に結び付けたいと考えています。

◆マイナンバー制度

問 社会保障・税番号制度システム整備事業費の事業内容について伺う。

答 マイナンバー制度に係るシステム改修費です。住民基本台帳システム、地方税務システム、児童福祉システム、介護保険システム等の11のシステムの改修になります。

◆経営体育成対策

問 この補助金は、2月の大雪によって被害を受けた農産物の生産に必要な施設の再建、修繕等に対して9割補助されるとのことですが、申請書類はわかりやすいのか。また、被害農家にどの程度行き渡るのか伺う。

答 補助を受ける方の調書の作成にあたっては、担当職員が3日間マンツーマンで協力しました。施設園芸設置の修繕にかかる費用が膨大になった場

合再建が難しいので、離農されないために、9割補助金を活用するもので、農業を続けられる方々に対して補助する制度です。



▲大雪によりつぶれたパイプハウス

◆道路排水対策

問 住野地先の道路排水対策について、県道の道路の側溝は今のどのような状況なのか、また今後どのような方向なのか伺う。

答 この冠水箇所の最大の原因は、県道側からの雨水の流入ということが大きき原因の1つだと思います。市としても県道側に雨水排水用の側溝を入れてほしいということで、もう数年前から要望しています。今年度も土木事務所の方に要望しているところで

委員会での審査

6月12日に総務常任委員会、6月16日に経済建設常任委員会が開催され、付託された議案等を審査しました。
(紙面の都合上、質疑等の一部を掲載します。)

総務

◆八街市基本構想の策定

問 市民の意見が十分に反映され、「自治体の責務」を明確にしなくてはならないが、どのように考えているのか。

答 多くの市民の意見を取り入れるために、地区別懇談会を8回行う予定です。他には、市民会議、また中学生、高校生の意見を取り入れるため、ヤングフォーラムも開催する予定です。

◆行財政調査会条例

問 行財政改革推進室を設置した理由を伺う。

答 総合計画、実施計画の中で、市民の方に説明責任が出来るように外部評価を受けて、事業の評価をしていくために、中立な立場として設けたものです。

問 ◆マイナンバー制度
税にはいろいろあるが、一本で管理できるのか伺う。

答 情報提供ネットワークシステムで、確認できることとなります。

問 ◆税条例の改正
軽自動車等の税額が上がる理由と本市の影響額を伺う。

答 軽自動車は、機能面で普通自動車との差が小さくなっている一方、税額の開きが大きいこと、また、取得税が軽自動車は3パーセントから2パーセントとなるなど、地方の税収が減額になることが税率改正の理由と聞いています。軽自動車税の税率改正による本市の影響額は、平成27年度は800万円の増額を、平成28年度は1千400万円の増額を見込んでいます。

経済建設

◆土地の埋立て等の申請者に暴力団を排除

問 警察への照会は、申請があつた時点で行うのか。また、埋め立て等に関しての動きがあつてから、照会するのか伺う。

答 個人は、申請前に住所、氏名が確認できますので、この時点で調査ができます。法人は、法人の定款等がこの時点では、提出されていけませんので、事前に定款も提出していただくことができれば、調査することが可能だと思われま

◆埋め立て等をする業者は行政からの指摘を受けると、現企業を廃止して、新たな企業を發起することを繰り返し行うこと

問 業者は行政からの指摘を受けると、現企業を廃止して、新たな企業を發起することを繰り返し行うことだが、市内に見受けられませんが、このようなことはどのように防止していくのか。

答 申請者や事業主に変更があつた場合、毎回調査します。新たな企業の申請、または、会社内の役員等に変更があれば、そ

の都度調査します。
◆大雪により被害を受けた農業施設の支援

問 今後、更に希望者がいた場合の対応について伺う。

答 県から、申請の受け付けは終了と聞いていますが、国から追加の取りまとめがあるかもしれないと聞いていますので、漏れている方がいらっしゃれば、この中で対応したいと考えています。

◆消費生活対策

問 消費者被害予防対策の市民への広報活動の内容を伺う。

答 市民への周知は、広報やちまた、ホームページ以外にも、高齢者被害が多発している近年においては、老人福祉センターや中央公民館等と協力を結び、高齢者を対象とした講演会等を開催し、高齢者の参加を促しています。また、最近スマートフォン等による子供のIT被害も発生していますので、小中学校に向けた広報活動も進めているところです。

朝陽小学校建築順調です。

6月13日に文教福祉常任委員会協議会を開催し、建築中の朝陽小学校校舎及び体育館の進捗状況と朝陽小学校、八街北中学校の授業の様子を視察してきました。



!!進めています議会改革!!

議会改革検討協議会では、現在予算審査特別委員会の設置、決算審査特別委員会の審査方法の見直し、議員定数及び議員報酬の見直しについて協議を進めています。



市政を問う！

一般質問は、市の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし、見解を求めるものです。6月定例会の一般質問は、4日(水)、5日(木)、6日(金)の3日間に17名の議員が質問しました。

(ここでは紙面の関係で、その一部を要約して掲載しています。)



個人質問

人口減少に危機感を！
魅力的で住みたい街を目指して！

誠和会 山口孝弘



路線バスの新設

問

成田国際空港を利
用するにあたり、ア
クセスの改善を図って
いただきたいと要望がある。L
CC（格安航空会社）の参
入。八街から空港に就業し
ている方は約1千名おり、
今後、成田国際空港のター
ミナルも新しく生まれ変わ
る。街づくりの一つとして、
八街から成田国際空港間の
路線バスの新設の考えは。

市長

路線として、需
要動向がどれくら
いあるか。運行事業者とし
ての採算性、市としての費
用対効果についても十分な
配慮が必要。空港周辺地域
における新しいアクセスの
動向にも注視していきま



問

市町村間の相互協
力についての考えは。

市長

相互交流あるい
は相互状況交換、
相互協力はしていく。

あいさつ運動

問

私はこの八街市を
日本一あいさつがで
きる街にしたい。人と人
の絆や社会性は「あいさつ」
によって醸成される。地域
の絆を深め、魅力ある街へ
進めるため、八街市全体で
あいさつ運動をしていくべ
きと思うが考えは。

市長

まずは市役所に
おいて、職員が来
庁者の皆さんへ率先してあ
いさつをしていく。市役所
における取り組みなどを契
機に、地域においても自発
的な取り組みにつながれば
よいと思っています。

若者に魅力的な街に

問

若い世代が住み続
けたいと感じるのは、
就業先が近いこと。環境面

市長

結婚祝金、出産
祝金などの給付金
制度の創設には、有効性を
検討し他の施策も視野に入
れながら、5月30日付で設
置した八街市人口減少問題
対策検討会議の中で調査・
検討します。

魅力的なイベントを

問

全国的に見ても、
気軽に学校給食を食
することができる機会は少
ない。どこの市町村よりも
先駆けて、学校給食を食す
ることができるイベントを
開催しては。

教育長

イベント会場な
どでの提供は、衛
生的なところで難しい。給
食に関心のある方やグルー
プなど、給食センターとし
ては積極的に試食の受け入
れをしていきたい。

個人質問

農地転用の現状と不法ヤード対策、JAいんば合併後の農業振興について

誠和会 石井孝昭



個人質問

安心して安全、住み良い街づくりのため

誠和会 木村利晴



環境問題

問 ヤード(自動車の解体施設)の外観は、人

里離れた山奥や郊外の農地などの敷地を高い鉄板などで囲って、外部から見えないように設営をされています。市内にはどのぐらいヤードが存在するのか。

市長

よると、県内の自動車関係のヤードは473カ所で、印旛管内では328カ所、市内では16カ所あると聞いています。

問

ヤードは外からは見えにくい作業場のため、盗難車を解体して海外に運び出す拠点となったり、覚醒剤や薬物の密輸の受け渡し場所となっているケースがあると報道されています。現在の法整備の中で、不法ヤードと呼ばれる施設は市内にあるのか。また、対策について伺う。

市長

鋼板等で囲まれていて内部で行われている行為の確認が困難

環境問題

なため、不法ヤードであるかどうかの判断が難しいところ。本市に申請される農地転用及び都市計画法等の許可が必要な場合は、土地利用等の概要は把握できず。対策は、県がヤード設置適正化条例制定後

県・警察、及び労働基準監督署などと対策を進めたいと考えています。

農地転用問題

問 滝台地先にヤードの設置許可を求める農地

転用問題は、業者からの唐突な申請により近隣住民を驚かせ、滝台区としての大きな問題となり、幾度となく臨時区会で対応を協議されたと聞いています。この滝台地先における農地転用問題について伺う。

農業委員会事務局長

当委員会としての、これらの地区住民の心配懸念を踏まえて、当委員会農政部

会並びに第5回総会において、全員一致の意見として、不許可相当の意見を付して、

農業振興

問

JAいんばとJA千葉みらい合併後の本市との農業振興との関わりについて伺う。

市長

2つの相互の人材と事業運営のノウハウを結集し、組合員や地域住民の多様なニーズに応えられるバランスのとれたJAづくり、また、地域に密着したJA運営を行うとのこと。

このことから、市とJAの連携により、農業従事者の高齢化、後継者不足など、現在、農業が抱えるさまざまな課題に対し、戦略的取り組みを強化し、本市の農業振興を図りたいと考えています。

※その他の質問

◆砂地先の河川整備

農薬の適性散布

問 農薬が散布され、一部住民に被害をもたらしました。この農薬は危険なんだと認識させ、販売されているのか伺う。

市長

適切に使用していれば、人への影響はないと考えています。JAいんばで、農薬使用についての講習会を実施しているほか、農薬販売時にも使用方法等について指導を行っているとのこと。

問

農薬等の散布時に立て看板を立てていただけないか伺う。

市長

除草剤は、農地以外でもかなり利用しており、現状では難しいと感じています。

ふれあいバス

問 坂江地区と八街駅を結ぶふれあいバスの運行は、昼間8時間26分間も便がありません。また、坂江に帰る昼間の時間帯で所要時間は、早いもので47分、

他は全て1時間以上かかります。駅行きの増便と所要時間の短縮は出来ないか伺う。

市長

今後、八街市地域公共交通協議会を開催する中で、ふれあいバスの再編を含めた議論がしっかりと行われることと考えています。

防災

問

停電時のための手動式井戸ポンプ設置について伺う。

市長

指定避難場所等に井戸に発電機を接続して活用することから、検討したいと考えています。

問

最近開発された塗料で蓄光塗料があり、誘導灯として、また、泥棒、不審者対策にも効果があると思われ。導入について伺う。

市長

蓄光塗料の利用は、停電対策として有効と考えていますが、高価ですので、慎重に検討

問

したいと考えています。共助の部分で、各自治会での食糧備蓄について伺う。

総務部長

各地区ごと組織がどんどんと進んでいく一つの観点から、ぜひ積極的に取り組んでいただければと市としても考えるところで。

問

各家庭や事業所等に、おける食糧、飲料水等の備蓄意識の普及啓発推進について伺う。

市長

今年度は、自主防災組織の結成促進を図るため、地域の会合等に出席し、備蓄の必要性を更に説明していきます。

教育問題

問

本市での不登校生徒の現状を伺う。

教育長

平成25年度は、24年度より0.12%減少となっていますが、県平均より依然としてその割合は高い方です。

個人質問

障がい者にやさしい街づくりと、農業・教育について

誠和会 小山 栄治



障がい者にやさしい街づくり

問 避難場所に、障がい者用トイレはあるのか伺う。

市長 本市の指定避難場所30カ所のうち、市の施設が23カ所あり、そのうち14カ所に障がい者用トイレが設置されています。市の施設のうち、障がい者用トイレが設置されていない施設は、小中学校・保育園のうち、9カ所です。これらにつきましては、今後、建て替えや大規模な増築を行う場合には、障がい者用トイレを設置する事にしていきます。

問 車椅子の人が、安心して通行できる道路や歩道整備について伺う。

市長 車椅子利用者が安心して通行するためには、車両の通行と分離する事が必要であり、歩道整備が有効であると考えられています。以前は、マウン

ドアップ型の歩道が主流で

場所30カ所のうち、市の施設が23カ所あり、そのうち14カ所に障がい者用トイレが設置されています。市の施設のうち、障がい者用トイレが設置されていない施設は、小中学校・保育園のうち、9カ所です。これらにつきましては、今後、建て替えや大規模な増築を行う場合には、障がい者用トイレを設置する事にしていきます。

農業を観光に

問 知恵を出し、農業を観光に結びつけられる工夫は考えられないか伺う。

市長 現在、市の農業振興計画に位置づけた、民間企業による農業の振興と観光を合わせた事業計画があります。この計画は、大谷流地先にある長

年耕作されていない水田を活用し、自然とふれあうことができるピオトープや地元農産物を集めて来場者に販売する直売所施設、及び隣接する農地を活用し、農業体験ができる交流広場、また宿泊も可能なバンガローや、キャンプ場なども整備する計画となっております。

また、首都圏近郊の家族連れや、余暇を楽しむ人など、多くの方に利用していただける施設になるものと期待しています。

学力テストの公表は

問 本市は、学力テストの結果の公表についてどのように考えているのか伺う。

教育長 本調査の結果の公表については、個々の学校名を明らかにした調査結果の公表が、本年度より可能になりましたが、八街市教育委員会では、学校の序列化や、過度な競争が生じる事への影響に配慮したうえで、公表はしない方向で検討しています。なお、各調査の結果をもとに、成果と課題を検討し、児童生徒の学力向上に努めます。

個人質問

市民が安心して安全に暮らせるまちづくり

誠和会 小管 耕二



防犯体制の確立

問 防犯カメラの更なる設置促進を望むが、計画について伺う。

市長 昨年4月から5月の運用を開始しました。運用開始以来、12件の画像を幹部交番及び佐倉警察署へ提供し、捜査活動に活用されています。今年度は2台の増設を予定しています。

クリーンセンター

問 クリーンセンターの年末の受け入れ延長を望むが如何か。

市長 今年度のクリーンセンターにおける年末のゴミの受け入れは、12月27日まで延長して受け入れをし、昨年同様に12月23日の祝日は、通常どおり実施します。収集業務は12月29日までの実施を予定しています。

最終日29日の予約受け付けでの受け入れ方は考えられないか伺う。

街路樹のLED化

問 商店街の皆さんが整備を図っている街路樹のLED化に向けた整備について、行政の積極的な支援について伺う。

市長 現在、関東経済産業局の補助制度である、商店街まちづくり事業を各商店会等へ周知をし、活用を進め支援をしています。街路樹のLED化も補助対象となり、補助率は3分の2以内で、既存の設備を改修するには、商店会等の費用負担が少なく、大きな効果が得られるものと考えられます。補助金申請を行う商店会への手続き等の支援を行います。

八街バイパスの整備促進

問 八街バイパスの整備の現状はどうか。

市長 全体計画約3.2kmの事業で、約

1.5kmの区間について市も協力しながら鋭意用地取得を進めており、平成26年3月末の用地取得率は面積ベースで約92%と県より聞いています。五区交差点より北側の一部区間において歩道を整備しています。

問 八街バイパスの完成の見通しは。

市長 五区交差点から国道409号までの約1.2km区間について、平成28年度末の供用開始を目指し、工事着手に向け関係機関と調整していると県から聞いています。早期の全線共用に向け、県と協力していきます。

基幹産業としての農業振興

問 農業の担い手育成への取組みは。

市長 国の青年就農給付金事業を実施しているほか、市単独の支援策として、平成26年度より農業後継者育成支援給付金事業を実施しています。



未来へ向けての安心・安全な街づくり

誠和会 鈴木広美



市道・農地整備と防災訓練について

誠和会 長谷川健介



個人質問

防災

防災課の役割と人員数、また危機管理の体制について伺う。

市長

防災課は、安心・安全な街づくりを推進するため、主に防災関係、消防関係、交通安全関係、防犯関係の4つの分野を担当しています。事務の執行体制は、課長以下、災害対策担当1名、消防防災担当3名、交通防犯担当3名の8名体制です。ここ数年の市民の防災意識や防犯意識の高まり等を背景とし、防災課の果たすべき役割も年々重要度を増しております、この傾向は今後も続くものと考えています。本市の危機管理体制は、災害対策担当1名を他の職員がフォローする形をとっています。市町村によっては、危機管理監を置いて、危機管理室などの専門的な部署を設置しているところもあるのですが、本市の危機管理体制では、十分ではありません

ん。今後は、危機管理・消防・防犯・交通安全の重要性を十分に考慮し、体制の充実・強化を検討していきたいと考えています。

問

災害対策担当者は2人以上、あるいは専門的な部署などの方向付けの考えはあるのか。

総務部長

八街市に防災対策ですので、今後は、検討していかなければならないと思っています。

空き家対策

空き家の今後の対応策について伺う。

市長

空き家対策の方針は、大きく分けて2つの考え方がありまします。第1は、問題のある空き家の撤去を促進する方向性であり、第2は、活用可能な空き家の利用を促していく方向性です。特に第2の活用可能な空き家の利用促進は、空き家バンクの設置などが考えられ、県内において、主として人口減

少が著しい自治体において設置されていると伺っています。本市も、移住・定住促進策の観点から、検討課題とし調査・研究を行っていきたく考えています。

電子入札

電子入札の現在の状況について伺う。

市長

談合等の不正行為の防止、発注業務の簡素化や入札に関する費用の縮減、事務手続きの負担軽減、利便性の向上が挙げられます。4月からの入札契約制度の改正は、入札案件を制限付き一般競争入札へ移行したので、より多くの参加者が見込めることとなります。また、ダンピング対策強化として、低入札価格調査制度を導入し、最低制限価格の見直しを行いました。入札及び契約に関する情報の公表なども、ちば電子調達システム及び市ホームページを利用して透明性及び公平性の確保を図ってまいります。

市道整備について

市道111号線、岡田地区の排水整備について伺う。

市長

指摘の箇所は、排水施設がないため、雨が降ると道路脇の一部が冠水するので、今後道路用地内で排水の処理が可能な浸透貯留槽施設の設置などを検討します。

問

市道211号線・市道212号線のセンターラインのメンテナンスについて伺う。

市長

ご指摘のセンターラインは経年劣化等により、消えている箇所や、見えづらい箇所が見受けられるため、道路構造令の変更に伴う区画線設置基準に合わせて、出来る限り早い時期での設置に努めたいと考えています。

問

市道211号線・市道212号線の街路樹(桜の木)のメンテナンスについて伺う。

市長

実施結果は、避難訓練・避難所訓練参加者54名、避難所運営訓練・初期消火訓練等の参加者149名、非常招集訓練参加者500名、情報伝達・現況確認訓練参加者4名で、大規模な訓練を市民参加で初めて実施できたことは大きな成果であり、今後は、継続的に訓練を実施していくことで、市民の防災意識が向上し、訓練の成果があらわれてくると考えています。今後も市民参加の

防災訓練について

今年2月16日に実施された八街市総合防災訓練の成果について伺う。

市長

実施結果は、避難訓練・避難所訓練参加者54名、避難所運営訓練・初期消火訓練等の参加者149名、非常招集訓練参加者500名、情報伝達・現況確認訓練参加者4名で、大規模な訓練を市民参加で初めて実施できたことは大きな成果であり、今後は、継続的に訓練を実施していくことで、市民の防災意識が向上し、訓練の成果があらわれてくると考えています。今後も市民参加の

農地整備について

鹿島川上流地区の河川・水路等の維持管理について伺う。

市長

本年度、国では農業、農村の有する多面的機能の維持発展を図るための地域活動にかかわる支援を行い、地域資源の適切な管理を推進することで、農業、農村の有する多面的機能が今後とも維持され担い手農地集積という構造改革を後押しするために、多面的機能支払制度が創設されました。本市でも鹿島川上流地域において、地域の方々による農地等の維持管理がされてきましたが、今後、農地等の維持管理の負担が担い手に集中しないよう、地域ぐるみで取り組むことが必要と考えており、新たに創設された多面的機能支払交付金を活用した取り組みについて地元組織と話し合いを進めています。

「教育問題、高齢者問題、及び安全なまちづくりについて」

個人質問

公明党 服部雅恵



教育問題について

個人質問

公明党 新宅雅子



ネットワーク
依存症について

問 昨年8月に公表され

た厚生労働省研究班の調査報告により、子どもたちのネット依存の深刻な実態が明らかになりました。その報告では、パソコンや携帯電話でインターネットに熱中するあまり、健康や生活に支障を来すネット依存の中高生が、全国推計51万8千人にも上ると公表されました。これは中高生の約8%に相当します。子どもたちを過度なネット使用の危険から守るべきと思うが、本市の取り組みを伺う。

校では、携帯電話会社や警察関係の専門家を招き、青少年健全育成講演会を実施しています。

教育長 市内全小、中学校に携帯電話、スマートフォン、パソコンの使用上の留意点を示したパンフレットを配布し、ネット依存症、個人情報漏えい、ネットによるいじめについての危険性を知らせ、正しい使用方法について学ぶ情報モラル教育の推進を行っています。また、中学

安全な
まちづくりについて

問 自転車は子どもか

ら高齢者まで幅広い年代の方が利用する便利な乗り物です。近年、通ルールやマナーを守らない運転が社会問題となっており、自転車加害者となる事故で高額な賠償を命じられるケースも増えています。本市の自転車事故の現状、安全対策について伺う。

市長 自転車の現状は、平成23年が120件で負傷者121人。平成24年が103件で負傷者103人、死亡者2人。平成25年が93件で負傷者99人となっており、警察や各交通安全関係団体の方々のご尽力により、2年間で29%減少しています。安全対策は、広報紙、ホームページによる啓発や、交通安全教室で、左側走行の徹底、走行中のスマートフォンや、ヘッドフォンをつけての走行について、注意喚起を行っています。

市長 地域包括支援センターの設置は、市町村の人口規模、業務量運営財源や専門職の人材確保状況、地域における保健福祉圏域との整合性に配慮し設置するものとされています。各中学校区の設置についても、第6期介護保険事業計画において検討していきます。

2分の1成人式について

問 最近、2分の1成人式をマスコミでも

多く取り上げるようになりました。目的は、成人のちょうど半分にあたる10歳前後の子どもたちに、これまでを振り返り、将来の自分を向けるというイベントです。全国の小学校で行事や授業として行うことが増えているそうです。自分を育ててくれた親や、周囲の人に感謝し、将来の目標を立てるきっかけになるのではないかと考え、2分の1成人式の提案をしますが、本市の考えは如何か。

市長 2分の1成人式については、総合的な学習の時間を利用し、市内の全小学校が10歳を迎える4年生において実施しています。児童同士の交流会、保護者参加型等、学校ごとに児童の実態を踏まえて、計画的に行っています。20歳を迎える10年後の自分に夢と希望を持ち、何事に

も努力する児童の育成、そして、今後の成長に関わってくださる方々への感謝の気持ちを持つ児童の育成に努めていきます。

通学路の
安全確保について

問 学校、PTA、地域

等から通学路の安全確保のため、多くの要望が本市に対して出されていると思うが、どのように対応しているのか伺う。

教育長 学校、地域から通学路の安全確保に関する要望については、学校、教育委員会、道路河川課、及び警察等と連携をとりながら、標識、看板、防犯灯等の設置、枝木の剪定、草刈り、除草といった改善に努めています。教育委員会としては、日頃より児童生徒の登下校を見守ってくださる地域のボランティアの方々に感謝するとともに、今後も市の関係各課や学校、地域と連携し、通学路の安全確保に努めて

いきます。

学校トイレの
改善について

問 最近、家庭や公共

施設のトイレ環境が向上し、かなり、洋式化され、快適になっていきます。しかし、既存の学校トイレについては建設当時のままで、老朽化している和式中心のものが多いようです。また、排泄行為が恥ずかしいと我慢して、便秘、膀胱炎等、健康を損なう恐れも指摘されています。学校トイレの今後の改修予定を伺う。

教育長 学校トイレの改修については、今年度国の学校施設環境改善交付金事業を活用し、実住小学校のトイレ改修工事を実施する予定です。その他の学校についても、国庫補助制度などを活用し、優先度の高い学校から計画的に改修していきたいと考えています。

個人質問

公共交通、教育問題について

公明党 鯨井 眞佐子



公共交通について

問 八街市総合計画 2005第2次基本計画の施策が指す基本的な方向として、「誰もが利用しやすい公共交通の実現に努めます。」とあります。今、本市の交通手段はほとんどが自家用車によるところとなっていますが、高齢の方の運転ができない方など、公共交通を使わざるを得ない方も大勢います。現在、ふれあいバスを5路線走らせていますが、「もう少し時間の短縮ができないか。」などの声が寄せられています。合わせてデマンド交通の導入を望む声も多々あります。市民の皆様が何を望んでいるのか、しっかりとした討議を望むものですが、その取り組みを伺う。

市長

平成25年度末に、八街市地域公共交通総合連携計画を策定したところです。平成26年度における事業については、路線バス、ふれあいバ

子供たちを薬物乱用から守るために

問 先日テレビで脱法ハーブが市場に出回り誰でも簡単に買うことができるといわれています。近年は中高生が補導される例が多く、薬物使用が低年齢化しています。薬物乱用防止教育は中学生はもとより、小学生のうちからなぜだめなのか。使用したらどうなるか。薬物乱用の怖さをしっかりと教育することが大事です。また、保護者に対しても子どもを取り巻く環境、教育を徹底する必要があると思いますが、本市の取り組みの現状を伺う。

総務部長

一つは、乗り換えなしの公共交通でうまくネットワークを組んだ交通網、また空白地帯も救える交通網は何かということ、交通に關係する方のお知恵をかりながらネットワークを整えていくことが目標と捉えています。

教育長

平成21年度から継続して、全小学校の6年生と、全中学校を対象に、年に一度警察及び富里BBS等、外部団体の協力による薬物乱用防止教室を開催してきました。また、保健体育の時間を充てて聴覚教材を用いて指導にあたっています。

個人質問

若者の定住と子育て支援

やちまた21

加藤 弘



若者定住

問 都市に居場所が見つけにくい若者達は、農山村の生活が温かいと感じて、互いに支え合って暮らす点に、都市にはない幸福感を見出しているようです。「地域おこし協力隊」や「田舎で働き隊」等の制度を利用し、市内に若者を呼び込むこと等の考えについて伺う。

市長

地域おこし協力隊や「田舎で働き隊」などの制度について本市に該当する制度なのか含めて、さまざまな制度を検討する必要がありますので、八街市人口減少問題対策検討会議の中で調査、検討したいと考えています。

市長

農業従事者の人手確保などの目的等を含め、若者が市内に在住するため、市が中心となり運営するボランティアセンターの設立について伺う。

子育て支援

問 支えられる側の高齢世代がますます増大する一方で、支える側の若手世代が安定した仕事に就くことがいまだに難し

に悩む農業者のサポート、あるいは農業者と消費者との顔が見える関係を作り、営農が継続しやすい環境や、自然環境を守るなどを目的とした援農ボランティアが、先進的な都市において育成されていることについて認識しています。本市も新規就農者を増加させるため、青年就農給付金等の給付をするにより、農業従事者の確保や増加を図っているところです。若者が、市内に在住するための施策、またボランティアセンターの設立は、社会福祉協議会と連携を図りながら、既存の事業を含め、市民協働を充実させながら、あわせて各種ボランティアの活性化などを通して研究したいと考えています。

市長

平成27年度から始まる子ども・子育て支援新制度に向けて、八街市子ども・子育て支援計画を策定しているところで、質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供、保育の量的拡大・確保、地域の子ども・子育て支援の充実の3つを目的としています。保育士等処遇改善臨時特例事業を実施しており、千葉県安心こども基金を活用して、市内の私立保育園に勤務する保育士等の処遇改善を行うことを目的とし、保育所運営費の民間施設給与等改善費を基礎に上乗せ相当額を保育所運営費とは別に、市内の私立保育園2園に交付しているところです。

◆防災と災害訓練について

個人質問

街づくり

今後の成田空港問題

年間3千万人以上の乗降客がある成田空港の存在意義は、本市にとって大変大きいものがあります。平成25年7月31日に成田空港活用協議会が設置され本市も加入しています。

問

乗降客がある成田空港の存在意義は、本市にとって大変大きいものがあります。平成25年7月31日に成田空港活用協議会が設置され本市も加入しています。

市長

千葉県知事との意見交換会で、成田空港が持つ潜在的なポテンシャルを効果的に引き出すためには、空港周辺地域においては市町村という枠組みを超えた各種事業の計画立案とあわせて、道路交通網の整備促進が必要不可欠であり、首都圏中央連絡自動車道の早期完成、酒々井インターチェンジ周辺の道路整備など周辺地域活性化に大変大事であることを強く要望したところであります。

市長

成田商工会議所などの民間団体による成田空港第3滑走路の動きに対し、各自治体からの意見表明は、現在のところ無いもの聞いています。本市は騒音対策区域に含まれていませんが、成田国際空港騒音対策委員会富里地区部会の構成員であるので、富里市と連携し歩調を合わせたいと考えています。また、航空騒音や落下物などの諸問題やこれまでの歴史的背景等を踏まえた空港圏自治体9市町の考えもあると思いますので、各

やちまた21

林 政男



自治体の推移を見守りたいと考えています。

問

将来の八街市像と関連しますが、成田空港に対してどのような思いを持っているか伺う。

市長

千葉県知事との意見交換会で、成田空港が持つ潜在的なポテンシャルを効果的に引き出すためには、空港周辺地域においては市町村という枠組みを超えた各種事業の計画立案とあわせて、道路交通網の整備促進が必要不可欠であり、首都圏中央連絡自動車道の早期完成、酒々井インターチェンジ周辺の道路整備など周辺地域活性化に大変大事であることを強く要望したところであります。

人口減少対策

問

最近の人口動態によると、直近5年間で3千人以上減少しています。この対策を伺う。

市長

日本創成会議の分科会が発表

八街市の人口推移(各年3月末日現在)

	世帯数	人口	対前年増加数
平成26年	30,476	73,956	-667
平成25年	30,159	74,623	-818
平成24年	29,984	75,441	-691
平成23年	29,785	76,132	-497
平成22年	29,570	76,629	-355
平成21年	29,312	76,984	-196
平成20年	28,879	77,180	-254
平成19年	28,488	77,434	-227

した20代、30代の若年女性数は、2040年には2010年と比較して半数以下となる自治体数が全体の49.8%に上るとのことです。八街市については、マイナス61%との人口変化率が公表されています。人口減少問題を重要課題と捉え、全庁体制で人口減少要因を分析し、実効性のある総合的な施策の立案が必要だと思いますので、副市長を議長として関係部課等の長による八街市人口減少問題対策検討会議を設置しました。今後、どのような施策の実施が可能か、研究、検討をしたと考えています。

個人質問

誰もが安心して暮らせるまちに

防災計画の見直しについて

防災計画は、情勢の進展にさらに対応できる改善が求められますが、どのような点で修正されたのか伺う。

問

防災計画は、情勢の進展にさらに対応できる改善が求められますが、どのような点で修正されたのか伺う。

市長

減災を基本とした対策の推進、受入拠点、体制を明確、災害時要援護者や帰宅困難者等の対策、原子力事故対策を追加しました。

問

住民に対し、見直しの公表は如何か。

総務部長

周知を図ると市のホームページに全文を掲載してあります。また今後は、自主防災組織の促進も含め、地域に職員が出向き、皆様方に周知していくというような考えを持っています。

問

気象業務法が改正され、どのように取り組まれているのか。また、市民への周知徹底については如何か。

特別警報については、気象業務法が改正され、どのように取り組まれているのか。また、市民への周知徹底については如何か。

日本共産党

右山 正美



市長

速やかに修正内容を検討し、修正後は、本市のホームページを通じて公表したいと考えています。なお、主な修正点は、災害対策本部、職員等の参集基準の追加です。

問

土砂災害から市民を守るために、市独自の避難勧告、指示の基準作りの検討は如何か。

市長

災害が発生した場合の被害想定等を行い、速やかに避難勧告等の基準を検討したいと思っております。

問

昨年の10月26日の台風では、古い造成地の擁壁が崩れて大きな被害が出ました。古い造成地の擁壁等の安全確認と対策をとる必要があるが如何か。

市長

災害の未然防止という観点から、市としてどのような取り組みができるか今検討をしているところです。

魅力あるまちに

人口減少は深刻な問題であり、その解決に

市長

副市長を議長として「八街市人口減少問題対策検討会議」を設置しました。今後どのような施策の実施が可能か、調査研究をしていきたい。

問

これまで試験運行やパブリックコメントなどを行ってきたが、市民の声を活かす内容となっているのか。運行の早期実現を求めるが如何か。

市長

今回の試験運行は、早期のデマンド交通導入との結論には至りませんでした。今後も引き続き、市民のニーズ等を踏まえながら、公共交通に係る検討・見直しを行いたいと考えており、「八街市地域公共交通総合連携計画」を策定したところであります。

いのち・暮らしを守る市政を

個人質問

日本共産党

京増 藤江



個人質問

子どもたちがのびのびと育つまちへ

日本共産党

丸山 わき子



安心の医療・介護の保障を

問 この間の所得が低い方の国保税の収納状況の傾向は如何か。

市長

本市の国保財政は、所得減、無職者や低所得者層の増加等で逼迫しており、平成25年5月末の国保世帯数1万4千523世帯のうち、約26%が滞納です。所得ゼロの世帯数は滞納世帯の22.8%、868世帯で前年度比217世帯、6.1%増え、景気低迷による影響が収納状況に表れています。

問 所得がゼロでは国保税を払えない。社会保障である国民健康保険は、応能負担の原則にすべくである。「貧困により生活のため公費の援助を受け、また受けるに相当する時」に利用できる「国保税減免」のパンフレットを納税相談の窓口に着くべきと思うが如何か。

国保年金課長

まず納税相談にきていただくのが原則ですが、パンフレットの作成については検討します。

問

次期の「第6期介護保険制度」の計画で、介護保険料を引き上げないよう求めるが如何か。

市長

次期介護保険事業計画では、介護保険料の所得段階を増やし、低所得者への負担減を検討するなど、国の方針に従います。

問

年金収入280万円以上の方の利用率を2割に引き上げる計画に対し、厚労省のデータが虚偽であったことを共産党の小池参議院議員が明らかにした。利用率2割への引き上げに断固反対すべきと思うが如何か。

高齢者福祉課長

国の基準に高年齢者福祉課長 従って対応します。

問

増税や年金削減とともに、4月から70歳になった方の医療費は2割に

なった。医療費の支払いが困難な方々に対し、「一部負担金減免」制度の周知をし、国に対しては、窓口負担を1割に戻すよう要求すべきと思うが如何か。

市長

「一部負担金減免制度」については、窓口へのパンフレットの配置やホームページ等による周知を検討します。2割負担(70歳の方)の影響が出ないようにするため、特定健診や人間ドック等による病気の早期発見、早期治療などで自己負担額も軽減できると思います。

市長

富士見住宅地先の4区2号線の砂利の部分の舗装を求めが如何か。

市長

境界確定実施済みの道路であり、今後の整備については、区からの要望、優先順位、財政状況等を勘案しながら検討します。

安全な生活道路に

問

今後、改正の内容に沿った対応、体制づくりを行うが、執行にあたって大きな影響はないと考えています。

問

この改正のねらいは、安倍政権のもとで、太平洋戦争を「アジア解放のための戦争」と教える歴史逆行の特異な教科書の押し付けを強めているが、多くの教育委員会はそ

教育行政の自主性を

問 地方教育行政法改定は、教育委員会のあり方を根本から改めようとするもので、教育委員長をなくし、教育長に対する指揮監督権をなくす。また、地方自治体の教育政策の方針となる「大綱」は、その市町村の首長が国の方針のもとに決定するとし、今は独自の行政機関となっている教育委員会は、市の行政に従属させるといふものに、特定健診や人間ドック等による病気の早期発見、早期治療などで自己負担額も軽減できると思います。

市長

「一部負担金減免制度」については、窓口へのパンフレットの配置やホームページ等による周知を検討します。2割負担(70歳の方)の影響が出ないようにするため、特定健診や人間ドック等による病気の早期発見、早期治療などで自己負担額も軽減できると思います。

問

今後、改正の内容に沿った対応、体制づくりを行うが、執行にあたって大きな影響はないと考えています。

問

この改正のねらいは、安倍政権のもとで、太平洋戦争を「アジア解放のための戦争」と教える歴史逆行の特異な教科書の押し付けを強めているが、多くの教育委員会はそ

問

結果の公表はしないということは高く評価したい。豊かな学力を形成するために、学校では何が必要なのか、また教育

教育行政の自主性を

の教科書を受け入れていません。教育委員会を弱体化させ、国の方針をスムーズに通すため、首長に権限を持たせようとするものです。戦前の教訓を踏まえ、現憲法のもとでは、政治権力による教育内容への介入・支配は厳しく戒められています。それを覆し、教育委員会の独立性を奪い、国や首長が教育内容に介入する仕組みづくりをしていくという点では、憲法の保障する教育の自由や自主性を損なうものです。国に対して、厳しく許さないといい姿勢を貫くべきであるが如何か。

問

国や首長が教育内容に介入する仕組みづくりをしていくという点では、憲法の保障する教育の自由や自主性を損なうものです。国に対して、厳しく許さないといい姿勢を貫くべきであるが如何か。

問

結果の公表はしないということは高く評価したい。豊かな学力を形成するために、学校では何が必要なのか、また教育

問

結果の公表はしないということは高く評価したい。豊かな学力を形成するために、学校では何が必要なのか、また教育

問

結果の公表はしないということは高く評価したい。豊かな学力を形成するために、学校では何が必要なのか、また教育

子どもの貧困対策について

委員会はどのような支援が必要なのかを明確にし、教員を増やすなど積極的な取り組みを求めます。学力テストの結果の分析をどのように活かそうとしているのか伺う。

問

教育委員会及び各学校で結果を分析し、その後の授業改善、学力向上につなげていくところでは、

問

政府は6人に1人の子どもが貧困状態にあるとし、「子どもの貧困対策の推進に関する法律」を今年1月に施行。各自治体が子どもの貧困対策を総合的に策定し、実施することを義務付けたが市長の見解を伺う。

市長

今後、福祉、教育部門で連携して取り組んでまいりたい。

問

結果の公表はしないということは高く評価したい。豊かな学力を形成するために、学校では何が必要なのか、また教育

安全・安心なまちづくりと教育問題

個人質問

改革クラブ

古場 正春



地震対策

問 震度6強の地震発生の際、八街市民7万3千人を守れるのか。

市長

災害対策における自助・共助・公助の割合を申し上げますと、一般的に全体を10とした場合、自助7割、共助2割、公助1割といわれております。災害対策における自助とは「自分の身を自分で守ること」で、共助とは「お互いに助け合うこと」で、公助とは「国・県・市などの応急対策や支援」のことです。市民全員

の安全を守るためには、市民一人ひとりが日頃から自分の身を守るための自助の取り組みと、自分たちの街を自分たちで守るための共助の取り組みを実践していくことが重要であり、そのためには、自助・共助の重要性を市民の皆様方に理解していただく必要がございます。本市としましては、市民

に自助・共助の重要性を理解して頂く施策の一つとして、自主防災組織の結成促進を図ることとしており、防災担当職員を地域の会合等に出席させ、自主防災組織の必要性について説明させているところです。

問

2月16日に震度6強が6時50分に発生し、方々で火災が発生しているとの想定で防災訓練が行われましたが、危機感

緊張感がなく普通の服装で市役所に集まりました。私はヘルメットを被って軍手をはめ、肩には、タオルと

笛を下げ、安全靴を履いて参加、震度6強の地震が発生の際、八街市民7万3千人の命を守れるのか。

総務部長

2月の防災訓練は、1回目的の防災訓練で危機感がなくとお叱りを頂くところか

もしれません。皆様方が自分を守る、地区の方々が協力してみんなで守ろうという力、八街市全体が危機感

を持った対応ができるようにしていきたいと考えています。

子どもが 主役の運動会

問

運動会が盛り上がるに運動会を中断してまであいさつをしなければならぬのか。運動会は生徒が主役ではないのか。秋の小中学校の運動会が盛り上がっている際、市長のあいさつは如何なものか。

市長

運動会等においてあいさつを依頼された場合には、参加されている皆様にご迷惑にならないよう留意したいと考えています。

※その他の質問

◆教育長の教育方針・道徳教育の指導は出来るのか

個人質問

学校行事における議員の挨拶廃止・来賓紹介の簡略化について

改革クラブ

桜田 秀雄



教育行政

問

私が議員になったころ、学校行事で挨拶予定の議員が式典開始時刻になっても現れず、主催者が困惑したことがあります。また、議員の間で誰が挨拶するのかわからず、もめたことがあり、議員が名誉職と考える本末転倒なお話です。子どもたちを最優先に考え、議員の挨拶の廃止と来賓紹介を簡略化し、式典を一分でも短縮するよう現場関係者に問いかけてきました。中央中学校学区内では議員の挨拶はなく、来賓紹介についても簡略化されました。現場関係者から「このような取り組みを市内すべての教育機関に広げられないか。」とのご提言を頂いている。先進的な取り組みの事例として紹介し、各現場で研究して頂きたいと思うが如何か。

の伝統等を踏まえ、各学校長の判断で学校運営の一環として行われています。

公文書改革

問

議会、農業委員会の傍聴規則に銃器の持ち込みとある。女性委員の拡大など開かれた農業委員会のあり方が問われている。改正すべきではないか。

農業委員会 事務局長

現状に則した規程にする必要があり、規則改正について審議します。

市政問題

問

生協が運営する「八街の森」のイベントについて「広報やちまた」に掲載できるように検討できないか。

市長

「施設の活用について市と相談を進めて行きたい。」とのお話がありますので、協議します。

問

八街駅北側噴水について、夏季に限定し稼働できないか。

市長

修繕し、期間限定で稼働できるように検討します。

問

砂のカタクリ、根古地でボランティアがコーヒーのおもてなしを行い好評だった。祭を立上げ、集会場を開放、駐車場を整備するなど見学者におもてなしを行う考えはないか。

市長

市、または教育委員会主催でのお祭りを開催する予定はないが、外部団体等で開催する場合は支援します。

道路事業

問

市道勢田1号線の整備について伺う。

市長

道路が狭く水路の経費が必要になります。区からの要望や整備の優先順位、財政状況を考慮し検討します。

全国市議会議長会定例表彰の報告

京増藤江議員、中田眞司議員は、市議会議員として市政の振興と地方自治の進展に尽くされた功績により第90回全国市議会定期総会において一般表彰されました。



京増藤江議員
平成10年初当選 現在5期目



中田眞司議員
平成15年初当選 現在3期目



ピーちゃん

ムダにしないで！その一票！

八街市は、各選挙で投票率が低下しています。市民の皆さんに一番身近な代表を選ぶ選挙、「市長選挙」、「市議会議員選挙」も投票率が低下傾向です。大切な一票です。選挙の際は棄権せず必ず投票しましょう。



ナツちゃん

過去5回の投票結果

市長選挙

選挙期日	有権者数(人)	投票者数(人)	投票率(%)
平成 6 年 11 月	45,148	25,068	55.48
平成 10 年 11 月	52,075	19,507	37.46
平成 14 年 12 月	57,445	17,162	29.88
平成 18 年 11 月	59,094	21,588	36.53
平成 22 年 11 月	59,841	23,004	38.44

市議会議員一般選挙

選挙期日	有権者数(人)	投票者数(人)	投票率(%)
平成 7 年 9 月	46,946	32,499	69.12
平成 11 年 9 月	53,644	33,126	61.75
平成 15 年 8 月	57,797	32,202	55.72
平成 19 年 8 月	59,419	29,342	49.38
平成 23 年 8 月	59,823	28,139	47.04

- 〔5月〕
- 2日・農業研究会総代会
- 9日・シニアクラブ連合会定期総会
- 15日・北総地区市議会正副議長会定例会及び視察研修会
- 16日・和歌山県岩出市議会行政視察来庁
- 16日・管工事協同組合総会
- 18日・市民音楽祭
- 18日・年金者連盟八街支部定期総会
- 20日・市民ゴルフ大会表彰式（東金市）
- 21日・印旛沼水質保全協議会通常総会（四街道市）
- 21日・教育委員会・校長会・教頭会合同情報交換会
- 21日・印旛支部消防操法大会出場隊激励会
- 25日・水防演習（采町）
- 26日・北総中央用水土地改良事業推進協議会通常総会
- 27日・赤十字奉仕団総会
- 27日・工業会通常総会
- 27日・印旛広域事務組合臨時会（佐倉市）
- 27日・商工会議所通常議員総会
- 28日・全国市議会議長会第90回定期総会（東京都）
- 28日・市議会議員共済会代議員会（東京都）
- 29日・八街駅南口商店街振興組合第12回通常総会
- 30日・養豚・酪農組合合同総会
- 31日・隊友会八街支部平成26年度支部総会
- 〔6月〕
- 15日・近隣中学校交流野球大会開会式
- 15日・ブルーベリーまつり
- 15日・県民の日「いんばふれ愛フェスタ」（成田市）
- 21日・富里市すいかまつり（富里市）
- 21日・PTA連絡協議会バレーボール大会
- 21日・シルバー人材センター定時総会
- 21日・遺族会総会
- 22日・建設業災害対策協力会総会
- 23日・夏野菜共進会
- 24日・印旛都市PTAバレーボール大会
- 29日・結婚50周年記念祝賀会
- 29日・千葉県消防協会印旛支部消防操法大会（四街道市）
- 〔7月〕
- 3日・市町村議会広報研究会（千葉市）
- 5日・PTA連絡協議会ソフトボール大会
- 6日・印旛都市民体育大会総合開会式（佐倉市）
- 6日・カラオケ連協「第6回チャリティー歌謡祭」
- 11日・久留米市議会議員行政視察来庁
- 11日・第34回納涼舞踊大会（チャリティー）
- 11日・第8分団消防車新車披露式
- 26日・第27回チャリティー夏の民謡祭り
- 26日・千葉県消防協会千葉県消防操法大会（千葉市）

★議長・副議長の出席報告★

平成26年6月定例会議案等賛否一覧

議案番号等	件名	結果	各議員の賛否																											
			議長	誠和会							公明党			日本共産党		やちまた21		改革クラブ												
			林修三	中田眞司	湯浅祐徳	小高良則	山口孝弘	石井孝昭	木村利晴	小山栄治	小菅耕二	鈴木広美	長谷川健介	新宅雅子	鯨井眞佐子	川上雄次	服部雅恵	丸山わき子	右山正美	京増藤江	加藤弘	林政男	古場正春	桜田秀雄						
市長提出議案																														
議案1	固定資産評価審査委員会委員の選任	同意	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案2	固定資産評価員の選任	同意	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案3	専決処分の承認を求めること（八街市税条例の一部改正）	承認	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案4	専決処分の承認を求めること（八街市都市計画法条例の一部改正）	承認	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案5	専決処分の承認を求めること（八街市国民健康保険税条例の一部改正）	承認	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案6	八街市基本構想の策定に関する条例の制定	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案7	八街市行財政調査会条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案8	八街市税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案9	八街市土地の埋立て等及び土砂等の規制に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案10	平成26年度八街市一般会計補正予算	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案11	平成26年度八街市国民健康保険特別会計補正予算	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案12	八街市税条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案																														
発議案1	手話言語法制定を求める意見書の提出	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議案2	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書の提出	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議案3	国における平成27年度教育予算拡充に関する意見書の提出	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議案4	集団的自衛権行使を容認する解釈改憲を行わないことを求める意見書の提出	否決	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
発議案5	消費税増税の中止を求める意見書の提出	否決	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	

※林修三議長は採決に加わりません。
各議員の賛否欄 ○・・・賛成、×・・・反対、欠・・・欠席

和歌山県岩出市議会来庁



5月16日(金)に和歌山県岩出市議会建設常任委員会が八街市のアンテナショップ「ぼっち」の運営について、視察されました。

ありのまま・解りやすく・読みやすい議会だよりに



7月3日(木)千葉県町村議会議長会主催の「市町村議会広報研究会」が開催され、議会だより編集委員が参加してきました。編集・出版アドバイザー芳野政明氏より議会広報の編集技術について勉強してきました。

八街市議会9月定例会のお知らせ

八街市議会9月定例会は9月2日(火)から9月25日(木)までの日程で行われる予定です。
○一般質問日程(予定)9月5日(金)・8日(月)・9日(火)午前10時～

編集後記

6月議会は17人の議員が市の発展のため、市民の皆様への安全、安心の生活づくりのために真剣に質問に立ちました。有識者らでつくる「日本創成会議」の試算によると、八街市の20～30代の女性が今後30年間で約61%減少するといわれています。生産人口も減少します。少子化をいかに最小限におさえるか、市も県も国も、大きな転換期を迎えています。朝陽小学校では来年3月、新体育館で卒業式が行えるよう、また、交進、川上、八街東小学校では、二学期中には耐震工事が終わるよう、がんばっています。太陽は夏色です。暑さに負けぬよう、どうぞご自愛下さい。(新宅雅子)

●議会だより編集委員会● 委員長/林 政男 副委員長/服部雅恵 委員/京増藤江・新宅雅子・山口孝弘・石井孝昭・木村利晴・小山栄治

※本紙にご意見等ございましたら「議会だより編集委員会」までお寄せ下さい。TEL043(443)1482